

評価領域	生徒指導
------	------

重点目標	○ 友だちを大切にし、共に関わり、高め合い、仲良くできる子どもの育成
------	------------------------------------

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直な子どもが多く、落ち着いた学校生活を送っている。</li> <li>・基本的な生活習慣は概ね身に付いている子どもは多いといえるが、生活の乱れが見える子どももいる。</li> <li>・携帯・スマホ・ゲーム機等を所持している子どもの割合が年々高くなっており、それともなって長時間使用の弊害が出てきている。</li> <li>・あいさつ運動を行い、概ね子どものあいさつは良好である。</li> <li>・不登校児童はいないが、不登校傾向とまではいかないが、登校渋りの見られる子どももいる。</li> <li>・バスや徒歩での登下校は、概ね安全に行えている。</li> <li>・いじめ等の問題は、昨年度は15件程度発生した。相手の気持ちを考えない言動からの「仲間はずれ」「たたく／ける」といったものが多かった。</li> </ul>
-----	--

具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもアンケートやOHCカードの「早寝早起き朝ご飯、あいさつ、無言清掃、いじめ、SNS 利用時間」の5項目において、「良い／どちらかという和良好的」の割合90%以上を目指す。</li> <li>○保護者アンケートにおいて、「家族や近所への元気なあいさつ」や「基本的な生活習慣」項目において、「十分満足、ほぼ満足」の割合合計を80%より上回ることを目指す。</li> </ul>
--------	--

目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ運動の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員が中心となり、玄関や1Fホールでのあいさつと声掛け（おはようございます）を毎日行う。</li> <li>・「あいさつ強調月間」を設け、曜日ごとに各学年の子どもと担任が玄関前のあいさつ運動に取り組む。</li> <li>・大内中学校と連携し、小中学生合同あいさつ運動を展開する。</li> </ul> </li> <li>○よりよい生活習慣の形成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・OHC（大内ヘルスチェックカード）を活用し、家庭と連携しながら、生活習慣を見直すことができるようにする。</li> <li>・SNS集会を行い、健康的に付き合うための知識を伝える。</li> </ul> </li> <li>○思いやり活動、ありがとう表現             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や学校行事、縦割活動を通して、相手を思いやる心や社会貢献の精神、協調性をさらに育て、望ましい人間関係を築く。</li> <li>・縦割り掃除・なかよし班活動等の体験を通して、自己有用感・達成感等を感じられるようにする。</li> </ul> </li> </ul>
------------	---

P

<b>具体的な取組状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会（計画委員）中心のあいさつ運動を継続し、あいさつ強調月間には全校児童参加のあいさつ運動を行った。</li> <li>・生活習慣を見直すためのOHC活動とアウトメディアチャレンジ(年4回)を大内中学校区で一体となって行った。</li> <li>・SNS利用等について、子どもたちが適切な利用の仕方を学ぶことができる内容のインターネット集会を開催した。</li> <li>・児童主体の思いやり週間やありがとう運動を行った。</li> <li>・お世話になった人や、自身と関わりの深かった人へ感謝の気持ちを伝える活動は、これから3月の終わりまで取り組む予定である。</li> <li>・縦割り活動は行事だけでなく、縦割り掃除を実施し、年間を通した取組にしている。</li> </ul>	<b>D</b>
<b>達成状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝早起き朝ご飯、あいさつ、無言清掃、いじめ、SNS利用時間」において概ね達成できているが、SNS利用時間については長時間利用が課題である。</li> <li>・保護者アンケートにおいて、「家族や近所への元気なあいさつ」や「基本的な生活習慣」項目はどちらも肯定的な回答が80%を超えることができた。</li> <li>・児童計画委員会の呼びかけで全校児童があいさつ運動を行った。あいさつを交わし合う姿がより見られるようになった。</li> <li>・大内中学校区でアウトメディアチャレンジ(年4回)に取り組めた。</li> <li>・「生活習慣アンケート(7・8月実施)」の結果から、SNS等の長時間利用が多いこと、健康に与える影響について知らせ、情報を共有し、家庭とともに改善を図っている。</li> <li>・インターネット集会では「情報モラル」「校内の約束とICT活用力の向上」「健康への影響」の3観点から、子どもたちが自らの利用の仕方について振り返ることができるよう工夫した。</li> <li>・各学年で子ども主体の学級行事、縦割り掃除・なかよし班活動等、学年の枠を越えた活動により、互いを思いやる姿が多く見られた。</li> </ul>	

<b>自己評価</b>	(評価) <b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが主体的に関わるあいさつ運動を行ったことで、互いにあいさつを交わす姿が多く見られるようになった。</li> <li>・縦割り活動(毎日の縦割り掃除、なかよし班活動)や思いやり週間、ありがとう運動等を展開することで、子どもに相手を思いやる気持ちを醸成することができた。</li> <li>・OHCカードやアウトメディアチャレンジは持続可能な取組となるよう改善を図りながら、よりよい生活習慣の形成のため、家庭の協力を得ながら進めていく。</li> </ul>	<b>C</b>
-------------	------------------	--	----------

↑  
評価基準  
↓

<b>学校関係者評価と意見</b>	(評価) <b>A</b>	(意見) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年を超えた縦割り掃除は、思いやりの心を醸成することに繋がっていた。より取組である。</li> <li>・OHCカードで中学校区一体となった取組は生活週間の見直しに繋がっていた。</li> <li>・「いじめ」は予兆があり、小さいうちに注意することが必要。放置すればエスカレートするので心の動きを察知することを心がけてほしい。</li> </ul>	<b>C</b>
-------------------	------------------	--	----------

<b>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童主体のあいさつ運動により、全校一丸となった取組となったので今後も継続していく。</li> <li>・行動が気になる児童については保護者との面談を随時行い、情報を共有しながら、保護者とともに指導にあたる。また、関係機関との連携を深め、多方面から指導に当たる。</li> <li>・アウトメディアチャレンジは意識の向上に繋がった。地域一帯となった取組となるよう、改善を加えながら進めていく。また、保護者へ啓蒙活動は、あらゆる機会を捉え行う。</li> </ul>	<b>A</b>
------------------------------	---	----------